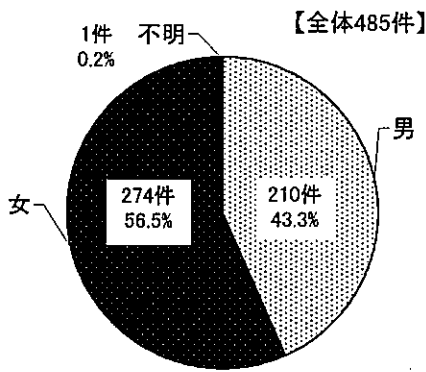


【特別相談の結果と相談事例（平成23年3月）】

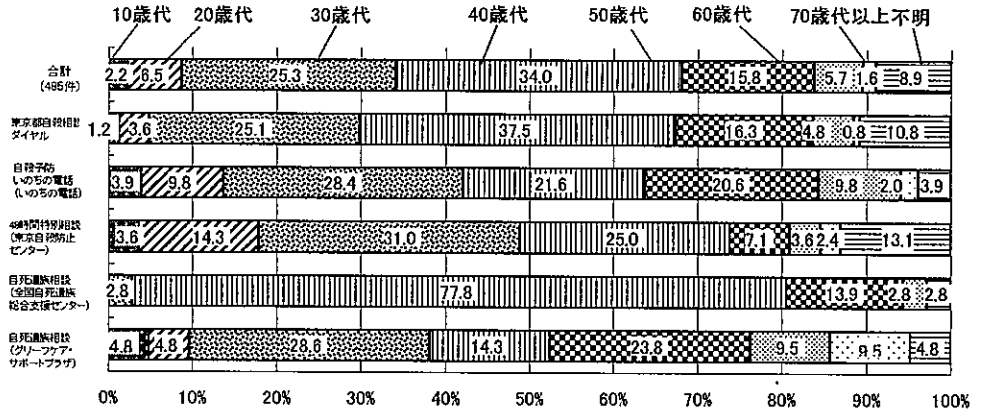
1 全体の状況

(1) 男女別相談状況



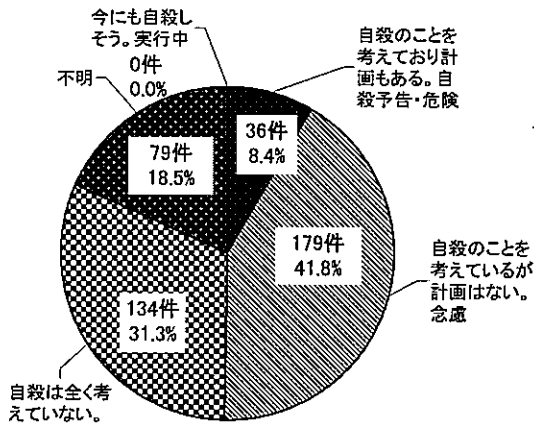
・男女比は、女性がやや多い。

(2) 年齢別相談状況



・10歳代から70歳代まで、各年齢層から幅広い相談があった。
・最も多かったのは30歳代(25.3%)

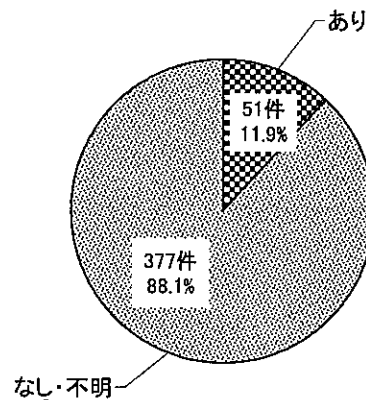
(3) 自殺の危険性



・「自殺のことを考えており計画がある」など危険性の高いケースが、36件(8.4%)、「自殺のことを考えているが計画はない」などのケースが179件(41.8%)であった。

(注)「東京都自殺相談ダイヤル」「自殺予防のいのちの電話」「48時間特別相談」に寄せられた相談(428件)の内訳である。

(4) 未遂歴の状況



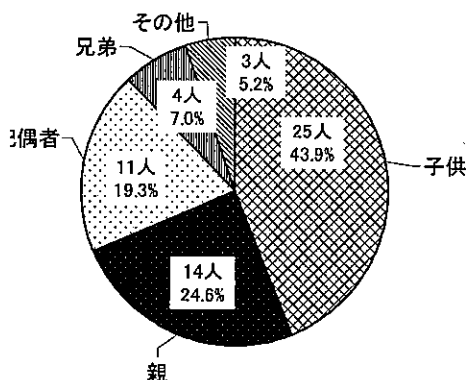
・自殺未遂歴のある相談が、約8~9件に1件の割合であった。

(注)「東京都自殺相談ダイヤル」「自殺予防のいのちの電話」「48時間特別相談」に寄せられた相談(428件)の内訳である。

2 各相談の状況

(1) 「自死遺族相談ダイヤル」の状況

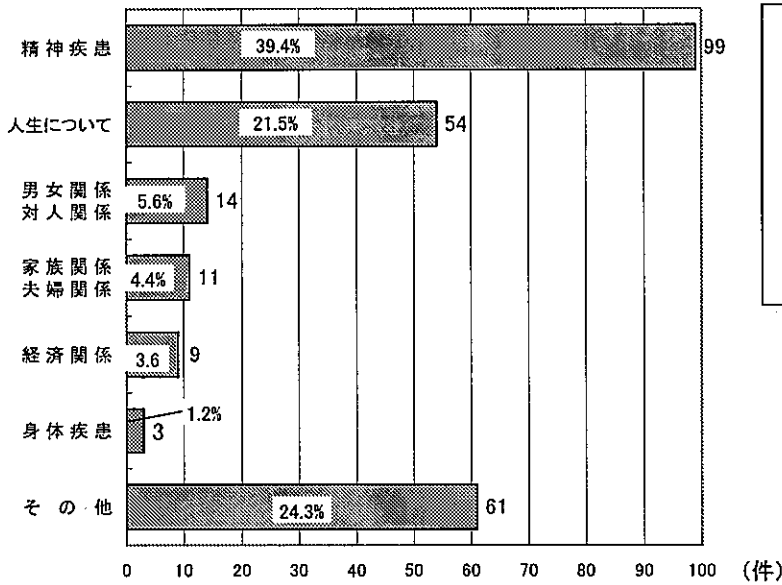
〈亡くなった方(相談者との関係)〉



・相談の主訴として多かったのは、
○十分に理解していなかった、寄り添えなかったことに対する自責・後悔
○取り残された孤独と将来に対する不安
○近隣の人や兄弟、親戚に自死を未だに言えないといった辛い気持ちの訴え
○遺族の集い等について知りたいといった要望

(注) 相談件数 57件
「自死遺族相談ダイヤル(全国自死遺族総合支援センター)」と「自死遺族相談ダイヤル(グリーンフケア・サポートプラザ)」に寄せられた相談件数57件)の内訳である。

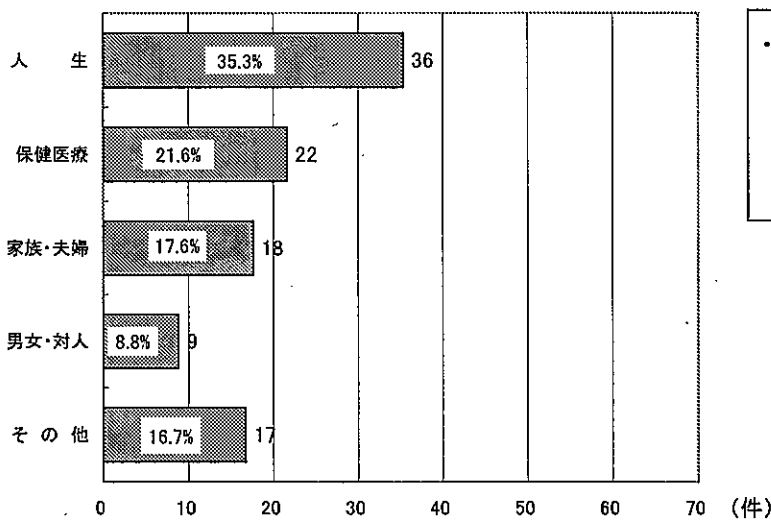
(2) 「東京都自殺相談ダイヤル」の問題別相談状況



・相談の主訴として多かったのは、
 ○精神疾患(アルコール、薬物依存含む) 39.4%
 ○人生について(厭世感、孤独、仕事等) 21.5%
 ○男女関係・対人関係 5.6%
 ○家族関係・夫婦関係 4.4%
 ○経済関係(借金、失業等) 3.6%
 ○身体疾患 1.2%

(注) 相談件数 251件

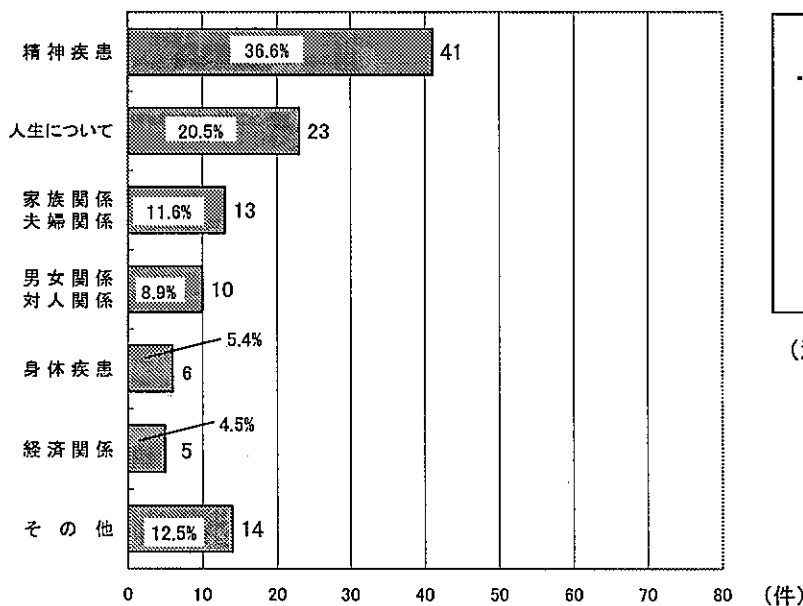
(3) 「自殺予防いのちの電話」の問題別相談状況



・相談内容の問題として多かったのは、
 ○人生(生き方、孤独感、職業) 35.3%
 ○保健医療(精神・身体疾患) 21.6%
 ○家族関係・夫婦関係 17.6%
 ○男女関係・対人関係 8.8%

(注) 相談件数 102件

(4) 「48時間特別相談」の主訴別相談状況



・相談の主訴として多かったのは、
 ○精神疾患(アルコール、薬物依存含む) 36.6%
 ○人生について(厭世感、孤独、仕事等) 20.5%
 ○家族関係・夫婦関係 11.6%
 ○男女関係・対人関係 8.9%
 ○身体疾患 5.4%
 ○経済関係(借金、失業等) 4.5%

(注) 相談件数 112件
 主訴は複数の場合があるため、相談件数とは一致しない。

3 主な相談事例

精神科に通院。死にたい気持ちでいっぱいだが、死ねば家族に迷惑がかかる。

(40歳代 女性)

解雇、妻の家出、すべてなくして飛び降りたくなる。

(40歳代 男性)

大学は滑り止め以外すべて落ち、疲労感でいっぱい。死にたい。

(10歳代 女性)

居場所がない。仕事ができない。病気に対して夫の理解がなく離婚するといわれる。生きているのが苦しい。

(30歳代 女性)

【自死遺族の方から】夫の死後、ずっと自分を責めている。体調も悪く、何をやる元気もない。家で毛布にくるまってだらだらとしている

(60歳代 女性)

【自死遺族の方から】自分もいつか自殺してしまうのではないかと、いつも不安にかられている。

(20歳代 女性)

【自死遺族の方から】「何で気づけなかったんだろう」「もっと～してあげればよかった」と思うことがある。

(30歳代 女性)

【自死遺族の方から】同じような体験をした人と話をしたら解決しなくても、何かヒントになることがあるのではないかと。同じような体験をした人たちと話をしたい。

(30歳代 女性)